広報 ひろしま
市民と市政
11/15
2026 令和8年 NO.1862

主な内容

2～3 西国街道の歴史を巡ってみよう／もしものときに備えて「人生会議」を／ノロウイルス食中毒／親元近くに住み替えませんか など
4～5 特集 令和7年度決算報告
6～8 くらしのガイド、施設のイベント

◀広報紙がスマホで読めます(13言語対応)



健康科学館は、今年度をもって閉館します。最終シーズン、あなたもここに来て、体の不思議や健康の大切さをあらためて感じてみませんか。
問健康推進課(☎504-2980、FAX 504-2258)

健康科学館 来年3月末に閉館
健康ってなんなん? 伝えて37年

体の仕組みや健康について模型や映像で紹介

健康科学館は、健康に関する科学的知識の普及啓発などを行い、「健康で幸せに暮らせるまちづくり」を推進することを目的として、平成元年9月に開館しました。

市民の皆さんの健康づくりに役立つよう、人間の体の仕組み・病気と健康・歯の健康などについて、興味を持って学習できる拡大模型や映像、グラフィックパネルなどを常設展示(写真1～5)し、さまざまなテーマの企画展や講座、イベントを開催してきました。

社会状況の変化、展示物の老朽化により閉館

しかし、インターネットの普及により健康に関する情報を入手しやすくなった社会状況や展示物の老朽化を踏まえ、来年3月31日をもって閉館。37年間の歴史に幕を下ろします。

閉館まで企画展などを予定

11月23日㈰までは、企画展「わたしのからだ 骨と筋肉 元気もりもり」を開催中。骨トンネル「ほーねくん」(右写真)では、楽しみながら骨の構造を学ぶことができます。

閉館まで、企画展などさまざまなイベントを予定しています。来館して健康科学館での思い出をつくりませんか。

常設展示の拡大模型
写真1耳・目・鼻、2脳、3心臓、4歯、5肝臓



2



3



4



5


骨トンネル「ほーねくん」▶

11/28㈮から

最後の企画展
おなか大冒険 う～んとスッキリ「うんちの旅」



最終シーズンのテーマは「うんち」。うんちは、私たちの健康状態を教えてくれる腸からの大事なお便りです。乳幼児から高齢者まで、全ての人にとって一生涯続くテーマ。食べ物がうんちになるまでの長い旅を楽しく学びましょう。

【期間】11月28日㈮～来年3月31日㈫
【場所】中区千田町三丁目8-6 市総合健康センター
【開館時間】9:00～17:00(入館は16:30まで)
【観覧料】大人370円、高校生相当年齢・65歳以上180円
【休館日】㈪(㈷、㈱の場合は開館)、㈷の翌日(㈯、㈰の場合は開館)、年末年始
【問い合わせ】☎246-9100、FAX246-9109

広島市健康科学館 検索

この記事は、主に右記SDGs(エスディージーズ)のゴールの達成に役立つものです。
【SDGs…持続可能な開発目標】

3 すべての人に健康と福祉を

編集・発行:広島市広報課(〒730-8586 中区国泰寺町一丁目6-34 ☎504-2117、FAX504-2067)